

令和7年度

各教科の年間指導計画 及び 評価計画【1学年】



東久留米市立下里中学校

1 国語科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものとしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。
○授業の構想と学習評価例	○漢字 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 (授業プリント・テスト) ○古典 古典には様々な種類の作品があることを知っている。音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 (授業プリント・テスト) ○書写 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。 (毛筆・硬筆【作品】) ○文法 共通語と方言の果たす役割について理解している。単語の類別について理解している。 (授業プリント・テスト)	○発表・グループワーク ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 (授業の取り組み・授業プリント) ○作文 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 (授業の取り組み・授業プリント) ○教科書本文読解 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 (授業の取り組み・授業プリント)	○話すこと 積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって報告しようとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】) ○書くこと 粘り強く自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】) ○読むこと ・粘り強く文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって理解したことを報告しようとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】)

(2) 年間指導計画

国語科の目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
- ・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い時運の思いや考えを広げたり深めたりさせる。
- ・言葉がもつ価値を認識し言語文化を大切に、思いや考えを伝えさせる。

国語科 第1学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じ想像する力を養い、自分の思いや考えを確かなものにさせる。
- (3) 言葉がもつ価値に気づき、進んで読書し、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	・朝のリレー ・言葉に出会うために ・野原はうたう・声を届ける ・書き留める・言葉を調べる ・続けてみよう	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・比較や分類、関係、関係づけなどの情報整理のしかた、引用の引用しかたや出典の示し方について理解を深め、それら使っている。 ・目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	授業プリント ノート 授業観察 定期考査
5	☆漢字を分解してみよう ☆漢字の筆使い ・はじまりの風 ・「聞く」情報を的確に聞き取る ・情報整理のレッスン 比較・分類 ・情報を整理して書こう ・漢字1 漢字の組み立てと部首 ☆楷書に調和する仮名（いろは歌）	・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。 ・点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合う内容を検討している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して整えて書いている。	授業プリント ノート 授業観察 定期考査
6	・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・思考のレッスン1 意見と根拠 ・話の構成を工夫しよう	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	授業プリント ノート 授業観察 定期考査

	・文法 1 言葉のまとまりを考えよう ・情報を集めよう・情報を読み取ろう ・情報を引用しよう ☆文字の大きさと配列（俳句） ・空の詩 三編	・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。 ・単語の類別について理解している。 ・日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	
7	・比喩で広がる言葉の世界 ・言葉 1 音声の仕組みやはたらき ・情報収集の達人になろう ・読書を楽しむ ・本の中の中学生 ☆速さを比べてみよう ・大人になれなかった弟たちに… ・星の花が降るころに	・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 ・比喩などの表現の技法を理解し使っている。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。 ・行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。	授業プリント ノート 授業観察 定期考査
8 9	・聞き上手になろう ・項目を立てて書こう ・推敲 読み手の立場に立つ ・言葉 2 方言と共通語 ・漢字 2 漢字の音訓 ☆行書の特徴 ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 ・日常生活の中から題材を決め集めた材料を整理し伝えたいことを明確にしている。学習課題に沿って案内文を書こうとしている。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・漢字の行書の特徴を理解している。	授業プリント ノート 授業観察 定期考査
10	・根拠を明確にして書こう ・話し合いの展開を捉える ・話題や展開を捉えて話し合おう	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 ・進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし	授業プリント ノート 授業観察 定期考査

	・大阿蘇 ☆丸み・点画の連続	ている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して身近な文字を書いている。 ・進んで行書の書き方（丸み・点画の連続）を理解し、学習課題に沿って「一」「二」「口」を書こうとしている。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して古典の世界に親しんでいる。 ・積極的に漢文を音読し今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。 ・進んで行書の書き方（点画の変化）を理解し学習課題に沿って「大木」「北西」「月光」を書こうとしている。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し内容を解釈している。 ・読書が知識や情報を得たり自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ・読み手からの助言などを踏まえ自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き助言し合おうとしている。 ・単語の類別について理解している。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にし、積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈している。 ・単語の類別について理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・相手の反応を踏まえながら自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。	授業プリント ノート 授業観察 定期考査
11	・いろは歌 ・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉 ☆点画の変化 ・「不便」の価値を見つめ直す		授業プリント ノート 授業観察 定期考査
12	・助言を自分の文章に生かそう ・考える人になろう ・君たちはどう生きるか ・たのしい制約 ・文法2 言葉の関係を考えよう ・少年の日の思い出		授業プリント ノート 授業観察 定期考査
1	・随筆 ・構成や描写を工夫して書こう		授業プリント ノート 授業観察 定期考査
2	・文法3 単語の性質を見つけよう ・言葉3 さまざまな表現方法 ・漢字3 漢字の成り立ち ・一年間の学びを振り返ろう		授業プリント ノート 授業観察 定期考査
3	☆季節のしおり ・ぼくがここに		授業プリント ノート 授業観察 定期考査

2 社会科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付け活用している。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断できる。思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようすることができる。多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することができる。
・授業の構想と学習評価例	・現代社会の特徴である、少子高齢化社会がどのようなものであるか、説明できる。 ・少子高齢化の実態を、グラフや表など資料をもとに読み取ることができる。 ・合計特殊出生率など用語を理解して使いことができる。 《授業での取り組み》 ・グラフをもとに、少子高齢化の進行を読み取り、40年後の人口構成から将来自分の置かれる立場を考え文章化する。 《評価》 ・グラフから40年後の自分の立場を理解し、少子高齢化の進行について理解し、文章化できる。 ・提出物、ワークシート、定期考査、ノート、小テスト	・少子高齢化の原因を、少子化・高齢化それぞれについて考えることができる。 ・少子高齢化による影響を、利点・課題点それぞれを考えることができる。 《授業での取り組み》 ・少子高齢化の原因をそれぞれ考え文章にする。 ・少子高齢化による影響を利点・課題点それぞれ考え、まとめ意見を交流する。 《評価》 ・少子高齢化の原因を考えまとめることができる。 ・少子高齢化の影響を利点・課題点それぞれを考えまとめ発表し、他者の意見をもとに視野を広げることができる。 ・ワークシート、定期考査、ノート、小テスト	・少子高齢社会について、前向きに考え、より良い社会生活を送るための手立てを考えることができる。 《授業での取り組み》 ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、より良い社会生活を送るために必要なしくみを考える。 《評価》 ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、持続可能な社会生活を送るために必要なしくみを複数の視点で考え文章化することができる。 ・レポート、定期考査、ワークシート、ノート

(2) 年間指導計画【歴史分野】

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 第1学年の目標

《歴史的分野》社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第1章 歴史へのとびら	○以下の内容について、古代国家の形成を踏まえて理解する。 ・世界の古代文明と宗教の起こり ・東アジアとの関係と日本国家の形成 ○歴史の学習の進め方、年表の読みとり方など身に付ける・ ○各時代の特徴・変化について理解し、多角的多面的に考え表現する。 ○各時代の課題を、よりよい社会の実現を視野に追求する。	ワークシート ノート レポート ワークなど提出物 定期考査 小テスト 授業中の観察
5	第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり		
6	2節 日本列島の誕生と大陸との交流		
7			
9	第2章 古代までの日本 3節 古代国家の歩みと東アジア世界	○以下の内容について、東アジアとの関係を踏まえて理解する。 ・東アジアとの関係と日本国家の形成 ・律令国家の確立と崩壊、文化の形成 ・鎌倉幕府の成立と元寇 ○各時代の特徴・変化について理解し、多角的多面的に考え表現する。 ○各時代の課題を、よりよい社会の実現を視野に追求する。	ワークシート ノート レポート ワークなど提出物 定期考査 休み明けテスト 小テスト 授業中の観察
10	第3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立		
11			
12			
1	第3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	○以下の内容について、中世での武士政権の誕生と変化していく流れを理解する。 ・鎌倉幕府の成立と元寇 ・南北朝の争乱と室町幕府の成立と文化の形成 ・農業など諸産業の発達 ・下剋上と民衆の成長 ○各時代の特徴・変化について理解し、多角的多面的に考え表現する。 ○各時代の課題を、よりよい社会の実現を視野に追求する。	ワークシート ノート レポート ワークなど提出物 定期考査 休み明けテスト 小テスト 授業中の観察
2			
3			

(2) 年間指導計画【地理分野】

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 第1学年の目標

《地理的分野》社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第1編 世界と日本の姿 世界の姿 日本の姿	○緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を理解する。また、地域構成の特色を多角的・多面的に考え表現する。 ○我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解する。 ○人々の生活は自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。世界の人々の生活や環境の多様性を理解し世界の主な宗教の分布についても理解する。世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ○世界各地の人々の生活と環境について、持続可能な社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。	ワークシート ノート レポート ワークなど提出物 定期考査 小テスト 授業中の観察
5	第2編 世界の様々な地域 1章 世界各地の人々の生活と環境 寒帯・冷帯(亜寒帯)・温帯・乾燥帯・熱帯・高山気候		
6	2章 世界の諸地域 第1節アジア州		
7			
9	2章 世界の諸地域 第2節ヨーロッパ州 第3節アフリカ州 第4節北アメリカ州 第5節南アメリカ州 第6節オセアニア州	○世界の各州に暮らす人々の生活を基に各州の地域的特色を大観し理解する。 ○世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きに着目して、多面的・多角的に考察し表現する。 ○世界の諸地域について、持続可能な社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。	ワークシート ノート レポート ワークなど提出物 定期考査 休み明けテスト 小テスト 授業中の観察
10			
11			
12			
1	第3編 日本のさまざまな地域 1章 地域調査の手法 地形図の読み取り	○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目して理解し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。 ○日本の地形や気候の特色、自然災害と防災への取組、資源・エネルギーと産業に関する特色などを基に、日本と世界との交通・通信網の整備状況などから日本の自然環境に関する特色を理解し地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。	ワークシート ノート レポート ワークなど提出物 定期考査 休み明けテスト 小テスト 授業中の観察
2	2章 日本の地域的特色と地域区分		
3	日本の地形、気候、自然災害、人口、資源やエネルギー、産業、交通・通信		

3 数学科

(1) 観点別学習状況の評価例 (第1学年の「数と式(1) 正の数と負の数」)

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
○授業の構想と学習評価例	- 正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 - 正の数と負の数の四則計算ができる。 - 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表現したり処理したりすることができる。 《授業での取組》 教科書の内容を基にした学習(例題を元にした説明から、問題演習等で考え方を共有したり、教えたり教えてもらったりする学習活動) 《評価》 - 学習内容がきちんと身に付いているか - お互いの意見交換の場面で正しい表現ができているか - 数学的に表現したり、処理したりする技能が身に付いているか	- 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 - 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 《授業での取組》 教科書を基に、自ら深く考えたことを互いに伝え合い、学び合える学習(考え方を共有したり、教えたり教えてもらったりする学習活動) 《評価》 - 学習した内容について、正確に表現できているか - 友達に、正しい表現で教えることができたか - 友達から教えてもらったことを基に、自力解決できるようになっているか	- 正の数と負の数の必要性和意味を考えようとしている。 - 正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 《授業での取組》 基本事項について自ら学ぶことができる(調べることができる)教材を提供し、取り組ませる 《評価》 - 問題演習等への取り組み状況 - 学び合い学習での活動の様子 - 各種教材(問題集)に取り組む姿勢と取り組み状況 - 学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか

(2) 年間指導計画

数学科の目標

基礎的な知識及び技能を習得し、数学的に考える力をはぐくむとともに、数学のよさを知り、数学が役立つことや数学と科学技術との関係などの理解を深め、事象を数理的に考察する能力と度を養う。

数学科 第1学年の目標

- (1) 数の概念の理解を深め、数量の関係や法則などを一般的に表現し、一元一次方程式を用いる能力を養う。
- (2) 図形に対する直感的な見方や考え方、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (3) 比例・反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第1章 正の数、負の数(24)	・符号のついた数/数の大小 ・加法/減法/加法と減法の混じった式の計算 ・乗法/除法/四則の混じった式の計算 ・正の数、負の数の活用	・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・課題への取組 ・単元テスト
5	・正の数、負の数の活用		
6	第2章 文字式(26)		
7	・文字を使った式 ・文字を使った式の計算 ・文字を使った式の活用 ・数量の関係を表す式		
9	第3章 1次方程式(22)	・方程式とその解/等式の性質/方程式の解き方/いろいろな方程式 ・方程式の活用/比例式とその活用	・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・課題への取組 ・単元テスト ・夏休み明けテスト
10	第4章 比例と反比例(26)		
11	第5章 平面図形(20)		
12	・関数 ・比例 ・反比例 ・比例、反比例の活用 ・平面図形の基礎 ・作図 ・図形の移動 ・円とおうぎ形の計量		
1	第6章 空間図形(19)	・点と直線/円 ・基本の作図/いろいろな作図 ・図形の移動 ・円の周の長さとおうぎ形の弧の長さとおうぎ形の面積 ・いろいろな立体/直線と平面 ・線や面を動かしたときにできる立体/立体の表し方 ・立体の体積/立体の表面積	・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・課題への取組 ・単元テスト ・冬休み明けテスト
2	第7章 データの活用(8)		
3	・度数の分布 ・データ活用		
	1年生の復習(1)		

4 理科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
○授業の構想と学習評価例	・科学的な物の見方や考え方を理解しようとしている。 ・目的に対して仮説を立て、計画的に実験や観察を行い、得られた実験結果の情報等を適切に処理しようとしている。 <評価> ・定期テスト ・実験プリント ・授業観察 ・小テスト ・レポート課題	・実験や観察を通して、科学的な物の見方や考え方を使い、科学的な様々な現象について説明しようとしている。 <評価> ・定期テスト（計算・応用問題） ・小テスト(思考系) ・レポート課題 ・授業観察	・自然科学に興味関心を持ち、科学的な物の見方や考え方を使って、探究しようとしている。 <評価> ・理科ノート ・問題集やプリントなどの取り組み ・質問紙 ・レポート課題 ・定期考査

(2) 年間指導計画

理科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

理科 第1学年の目標

自然の事物・現象についての理解を深め、その内容に対して進んで関わり、その中から問題を見出す。また、科学的に探究しようとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	単元1 生物の世界	理科室ガイダンス 1章 身近な生物の観察 2章 植物のなかま 3章 動物のなかま 探究活動	基本操作 ワークシート テスト
5			
6			
7	単元2 物質のすがた	1章 いろいろな物質 2章 気体の発生と性質	テスト ワークシート 行動観察
9	単元3 身近な物理現象	3章 物質の状態変化 4章 水溶液 探究活動	基本操作 ワークシート レポート テスト
10		1章 光の性質 ・光の進み方 ・反射と屈折 ・レンズ	
11		2章 音の性質 3章 力のはたらき ・いろいろな力	
12		・力の表し方 ・フックの法則 探究活動	
1	単元4 大地の変化	1章 火山(理科Aと連携して行う) ・火山噴出物 ・火成岩	ワークシート 行動観察 テスト
2		2章 地震 ・地震のゆれの伝わり方 3章 地層 ・地層のつながり	
3		・堆積岩 4章 大地の変動 探究活動	

5 外国語科(英語)

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これからの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
○授業の構想と学習評価例	○教科書のリスニングパート ・日常的な話題や社会的な話題について話されているパッセージを聞いて、その内容を的確に捉えている。 (→聞くこと) ○Lesson ごとの教科書準拠ワーク ・その単元で学んだことと今までに学んだ知識を用いて、事実や自分の考えなどを正しく書くことができる技能を身につけている。 (→書くこと)	○英作文 ・今までに学んだ語彙や文法事項を用いて、テーマに沿ってまとまりある文章を書いている。また、聞き手に伝わりやすいように文章を工夫して書いている。(→書くこと) ○ALT の授業 ・今までに学んだ語彙や文法事項を用いて、テーマに沿ってまとまりある内容を話している。また、ふさわしい態度で、聞き手に伝わりやすいように、身振り手振りを取り入れ発表している。(→話すこと【発表】)	○言語活動 (ALT の授業) ・ペア活動では、自分の考えや気持ちを、学んだ表現を積極的に用いて、間違いを恐れず相手に伝えようとしている。また、相手が伝えたい内容を聞きとろうとしている。 (→話すこと【やり取り】) ○教科書本文読解 ・まとまりのある長い文章を読むときには、適宜辞書等を用いながら、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている。(→読むこと)

(2) 年間指導計画

外国語科（英語）の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

外国語科（英語） 第1学年の目標

- (1) 英語を聞いて話し手の意向を大まかに理解できるようにする。
- (2) 基礎的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、英語を読んで書き手の意向などを大まかに理解できるようにする。
- (4) 英語を書くことに慣れ親しみ、基礎的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	Starter	・アルファベットの読み・書き ・日常生活で使う英語	授業における行動観察 パフォーマンステスト 授業内小テスト 定期考査 宿題ノート 振り返りシート
5	Lesson 1 About Me	・be 動詞と一般動詞の現在形(1・2 人称)の肯定文・疑問文・否定文 ・What ...? の意味と働き ・How many...? の意味と働き ・プロフィールカードを作って、自己紹介をする。	
6	My Hero	・助動詞 can の肯定文・疑問文・否定文 ・あこがれの人物を紹介する。	
7	Lesson 3 My Treasure	・This is ... / This is not... の意味や働き ・Is this ...? / What is this? の意味や働き ・Who is this? の意味や働き ・人称代名詞（目的格） ・大切にしているものを紹介するクイズをする。	
9	Lesson 4 My Summer Plans	・一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文 ・Where do you ... ? の意味や働き ・What am I? クイズを発表する。	授業における行動観察 パフォーマンステスト 授業内小テスト 定期考査 宿題ノート 振り返りシート
10	Lesson 5 Ms. Brown's Family	・3 人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文 ・Whose ...? の意味や働き ・人気のある人物やキャラクターを紹介する。	
11	Lesson 6 School Life in the U.S.A.	・現在進行形の肯定文・疑問文 ・Which ... A or B? の意味や働き ・学校生活や行事を紹介するメールを作成する。	
12	Lesson 7 Athletes with Spirit	・一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文・疑問文・否定文 ・雑誌に記載された、スポーツの特集記事を読む。 ・理想のロボット選手権の申し込み用意を作成する。	
1	Lesson 8 Discover Japan	・be 動詞の過去形の肯定文 ・過去進行形の肯定文 ・look + A の意味や働き ・思い出に残った出来事を絵日記に書く。	授業における行動観察 パフォーマンステスト 授業内小テスト 定期考査 宿題ノート 振り返りシート
2	Lesson 9 Emergency Food	・助動詞 will の肯定文・疑問文・否定文 ・be going to ... の肯定文・疑問文 ・新聞に記載された防災特集のコラムを読む。 ・日本の「昔話」の紙芝居の動画を撮影する。	
3			

6 音楽科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
○授業の構想と学習評価例	【例】歌唱「明日の空へ」 知「明日の空へ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 技創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【授業での取り組み】 ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動。 【評価】 ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか ・パート練習の様子	思「明日の空へ」の旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、その関わりについて考えている。 思知覚・感受したこととの関わりについて考え、「明日の空へ」をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【授業での取り組み】 ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動 ・プリント等への記入 【評価】 ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか ・パート練習の様子	態「明日の空へ」の曲想や歌詞の内容、声部の役割と全体の響きなどに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。 【授業での取り組み】 ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動 ・プリント等への記入 【評価】 ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか、また、学習した内容を振り返り、生かそうとしているか ・パート練習の様子

(2) 年間指導計画

音楽科の目標

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。

音楽科 第1学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

月	題材名	指導内容	評価方法
4	思いをこめて合唱しよう 《歌唱》校歌 明日の空へ 主人は冷たい土の中に	- 校歌（斉唱）の歌唱 - 発声練習 - 混声2部合唱 曲想を生かした合唱	- 授業 - 実技テスト - ワーク、プリント - 定期考査
5	リズムを生かして創作表現を工夫しよう 《創作》 くいしんぼうのラップ	- リズムや歌詞を生かした強弱表現 - リズムアンサンブル	グループワーク（パート練習）の取り組み
6	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう 《鑑賞》春	曲想と音楽の関わり感じとして鑑賞する。	
7	曲想を感じとして器楽表現を工夫しよう《器楽》ウクレレ	ウクレレについての基礎基本	
9	イメージと音楽の関わりを感じとろう《鑑賞》 映画ジョーズ	イメージをもたらす音楽のヒミツを探る。	- 授業 - 実技テスト - ワーク、プリント - 定期考査 - パート練習の取り組み - グループワークの取り組み
10	曲想やパートの役割を感じとして歌唱表現を工夫しよう 《合唱》合唱コンクール 課題曲 自由曲	- 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 - 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。	
11	曲想と音楽との関わりを理解して、その魅力を味わおう 《鑑賞》魔王	登場人物の心情や場面を想像させ、歌唱表現の特徴や伴奏の効果に関心を持ち、鑑賞する	
12	《鑑賞》 世界の諸民族の音楽	- ウクレレのコードを覚えて弾く。 - アジア各地の音楽を聴こう。 - 箏の基本的な奏法を用いて演奏する。	
1	《鑑賞》 世界の諸民族の音楽	アジア各地の音楽を聴こう。	- 授業 - 実技テスト - ワーク、プリント - 定期考査 - パート練習の取り組み - グループワークの取り組み
2	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 変わらないもの 卒業式の式歌 混成3部合唱	- 混声3部合唱 - 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 - 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。	
3			

7 美術科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
○授業の構想と学習評価例	「ピクトグラムを考えよう(デザイン)」 知識 形などの性質や、それからもたらす効果、場所や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることができる。 技能 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって造形的に表している。 【評価材料】 授業観察 ワークシート 作品 定期テスト	「ピクトグラムを考えよう(デザイン)」 発想 伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、形がもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 鑑賞 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを取り、表現の意図と造形的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 【評価材料】 授業観察 ワークシート 作品 定期テスト	「ピクトグラムを考えよう(デザイン)」 態度・表現 主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度・鑑賞 主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深めながら学習活動に取り組もうとしている。 【評価材料】 授業観察 ワークシート 作品

(2) 年間指導計画

美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

美術科 第1学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組み美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培って、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	絵画・鑑賞 「スケッチからはじめよう」 「自分のくつのデッサン」	- 身近な物をスケッチする。 - 鉛筆の特性を生かしながらデッサンをする。 - 形の細部までこだわって観察して描く。	- 授業観察 - ワークシート - 作品 - 定期テスト
5			
6			
7	デザイン 「ポスターカラーの使い方」	- ポスターカラーと配色カードの使い方を覚える。 - 色の三要素を理解する。	- 授業観察 - ワークシート - 定期テスト
9	デザイン 「色彩構成」 デザイン・鑑賞 「レタリング」	- ポスターカラーを使って作品制作を行う。 - 色の性質や表現方法を理解し、基礎技術を身に付けることによって製作意欲を高める。 - レタリングの手本を見てレタリングを行う。 - 文字や色を活用し、他者に伝わる作品制作を行う。	- 授業観察 - 作品 - 定期テスト - 授業観察 - アイデアスケッチ - ワークシート - 作品 - 定期テスト
10			
11			
12			
1	彫刻・鑑賞 「木彫レリーフ」	- 身近な対象を立体でとらえ、形や色のおもしろさや美しさを木彫で表現する。 - 参考作品や生徒作品の鑑賞から、発想や工夫しているところを見付ける。	- 授業観察 - ワークシート - 作品 - 定期テスト
2			
3			

8 保健体育科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
○授業の構想と学習評価例	運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力や高め方、表現の仕方、伝統的な考え方、発表の仕方などを理解し、身に付ける。 《授業での取り組み》 ・実技練習、発表、記録会、試合。 ・健康・安全についての理解。 《評価》 ○期末考査 ○実技テスト ・個人技能（記録、技、フォーム、表現、発表） ・チーム内での活動における技能評価（攻防の仕方、動き） ・試合での活動における技能評価 ○準備運動など ○保健、体育理論	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に言葉や文章、動作などで伝えることができる。 《授業での取り組み》 ・課題を設定し、取組方法を工夫・改善する。 ・グループでの学び合い、話し合い活動。 ・学習カードへの記入。 《評価》 ○学習カード ○その日の「ねらい」を意識して考えながら取り組み、表現している。 ○練習や試合の活動（個人、グループ）における取り組み。 ○保健、体育理論	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを認めようとする、健康・安全に留意する、自己の最善を尽くして運動をする。 各種目に積極的に取り組み、技能や体力の向上を図る。また、上達するために繰り返し粘り強く取り組む。 《授業での取り組み》 ・個人やチームの課題への継続的な取り組み。 ・協力し最善を尽くす取り組み姿勢。 ・学習カードへの記入。 《評価》 ○毎時間の行動、準備片付け ○学習カード ○保健、体育理論 ○各種目の取り組む姿勢

(2) 年間指導計画

保健体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を養う。

保健体育科 第1学年の目標

- 1 運動や体力の必要性について理解するとともに、各領域の特性や成り立ち、技の名称や行い方など基本的な技能を身に付けている。
- 2 自己の課題を他者とともに発見し、課題に応じた運動の取り組み方や運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、考えたことを他者に伝えている。
- 3 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任への意欲を持ち、健康・安全に留意して学習に取り組もうとしている。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	集団行動 体づくり運動	集団行動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	行動観察、テスト 学習カード、テスト 行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
5	運動会練習 陸上競技	・短距離走 ・リレー ・ハードル走	
6	体づくり運動（体力測定）	・新体力テスト	
7	球技 体育理論 保健	・バレーボール ・スポーツの多様性 ・健康な生活と病気の予防	
8	水泳	・水慣れ ・クロール ・平泳ぎ	
9	陸上競技	・走り幅跳び	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
10	器械運動	・マット運動	
11	武道 体育理論 保健	・柔道 ・スポーツの多様性 ・心身の機能の発達と心の健康	
12	球技	・ハンドボール	
1	陸上競技	・長距離走	
2	ダンス 体育理論 保健	・ダンス ・スポーツの多様性 ・心身の機能の発達と心の健康	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
3	球技	・サッカー	

9 技術・家庭科(技術分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
○授業の構想と学習評価例	・エネルギー変換についての科学的な原理・法則と、エネルギー変換の基礎的な技術のしくみを説明できる。 《授業での取組》 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術の例や、問題解決の工夫について調べる。 《評価》 ・ワークシート ・レポート ・テスト	・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気づくことができる。 《授業での取組》 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術の例や、問題解決の工夫について調べる。 《評価》 ・ワークシート ・レポート	・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 《授業での取組》 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術の例や、問題解決の工夫について調べる。 《評価》 ・ワークシート ・レポート

技術・家庭科（技術分野）の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

技術・家庭科（技術分野） 第1学年の目標

（１）生活や社会で利用されている材料，加工の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。

（２）生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。

（３）よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	ガイダンス	○技術の役割に気づく。 ○技術の見方・考え方を知る。 ○問題解決の流れと技術のしくみの最適化について知る。 ○安全に作業できる行動や作業環境を知る。	・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート
5	A 材料と加工の技術 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術	○材料と加工の技術に関する製品に込められた技術のしくみに気づく。 ○木材，金属，プラスチックの性質や種類を知り，加工技術を理解する。 ○製品を丈夫にするための構造や，部材の形状を知る。 ○製作品を図に表す方法を知る。 ○構想図や製作図を正しくかき表す。	
6			
7			
9	・問題解決の手順	○材料と加工の技術による問題解決の手順を知る。 ○身近な生活における問題を発見する。 ○発見した問題を解決するための課題を設定する。 ○設定した課題に基づき，製作物を構想・試作する。	・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート ・製作品
10	・製作のための技能	○材料取り・切断・部品加工などの必要な作業を行う。 ○組み立て・仕上げと検査・点検，必要に応じた改善・修正を行う。 ○設計や製作の過程に対する改善および修正を考える。	
11			
12			
1	・これからの材料と加工の技術	○これまでの学習内容と，材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ，材料と加工の技術の概念を理解する。 ○材料と加工の技術を評価し，適切な選択・管理・運用の在り方について意見をまとめる。	・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート
2			
3			

家庭科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を養う。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとする態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働しよりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○授業の構想と学習評価例	食生活や衣生活、住生活、家族・家庭生活、消費生活、環境について理解し、実践することができる。 ＜授業での取り組み＞ 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 （「考えてみよう」から、考え方を共有したり、作業の時は教えあったりする学習活動） ＜評価＞ ・学習内容がきちんと身に付いているか ・作品やプリント等、提出日に出しているか ・グループでの話し合いの時気づきがあるか	それぞれの領域で学習したことについて、問題を見いだして課題を設定し、考察し表現することができる。 ＜授業での取り組み＞ 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 （考えを発表し、共有することができ、互いに高めあう学習活動） ＜評価＞ ・自分の考えを正しい表現で発表することができるか ・プリントやワーク等、正確に記入されているか ・グループでの話し合いを基に考察し表現することができるか	それぞれの領域で学習したことについて、課題の解決に取り組み、振り返って、生活を工夫し実践しようとしている。 ＜授業での取り組み＞ 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 （学んだことを生活にいかせるように自ら取り組む学習活動） ＜評価＞ ・作品やプリント・ワーク等への取り組み状況 ・学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか。 ・学習に積極的に取り組んでいるか（発言、作品等）

年間指導計画

家庭科の目標

健康で快適な家庭生活が営まれるように基礎的な知識及び技能を習得し、家族や地域の人とかかわり、たがいに尊重し、共に生きる生活を創造していく力を育む。

① 1学年

家庭科 第1学年の目標

- (1) 健康的に過ごせるよう、食生活について基礎的・基本的な能力を養う。
- (2) 家族や地域の人と共に生きる生活を創造していく力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	B編1章 健康と食生活 (3) ・食事の役割 ・健康に良い食習慣について考えよう	・食事の役割 ・健康に良い食習慣	・定期考査 ・ワーク ・プリント
5	第2章 何をどれだけ食べたらよいか(11) ・栄養素の種類と働き		
6	・中学生に必要な栄養 ・食品に含まれる栄養素 ・1日に必要な食品の種類 ・1日分の献立	・栄養素の種類と働き ・中学生の食事摂取基準 ・食品と栄養素 ・食品群別摂取量のめやす ・1日分の献立	
7			
9	B編 第5章 生活を豊かにする製作(10) ・布を使ってつくってみよう	作品制作(刺し子)	・定期考査 ・ワーク ・欧倫と ・作品
10	第3章 調理と食文化(3) ・食品の選択と購入について ・購入した食品の適切な保存	・生鮮食品、加工食品の選択 加工食品の表示 ・食中毒の予防	
11	A編 第1章 家族家庭や地域とのかかわり(8) ・華族の一員としてできることを考えよう		
12			
1	・家族関係をよりよくする方法を考えよう ・家庭生活と地域とのかかわりを知ろう ・地域の人々と、協力、協働しよう	・家庭生活と家庭の仕事 ・地域の人々とかかわり	・定期考査 ・プリント ・ワーク
2			
3			